



データでみる福島再生

最近の動き

○除染仮置場等の状況（福島県内）

- ・仮置場等総数1,372箇所のうち、285箇所では除去土壌等を保管中、1,087箇所では搬出が完了し、670箇所の仮置場で原状回復が完了しました。

○中間貯蔵施設の整備の現状

- ・除去土壌の分別処理を行い、3月末時点で、約719.1万 m^3 （輸送量ベース）の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。
- ・廃棄物の焼却及び焼却灰の灰処理を行い、3月末時点で、灰処理ばいじんを封入した鋼製角形容器4,880個を廃棄物貯蔵施設に貯蔵しました。

○中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送の進捗状況

- ・2021年3月末時点で、輸送対象物量（帰還困難区域のものを除く）の約75.4%となる、約1,055万 m^3 の除去土壌等を中間貯蔵施設へ輸送しました。
- ・特定復興再生拠点区域において発生した除去土壌等の輸送も順次進めています。

○中間貯蔵施設用地の状況

- ・用地取得については、3月末時点で契約者数1,796人、面積約1,235haについて契約しております。

○国直轄による対策地域内廃棄物等の処理進捗状況

- ・災害廃棄物等の仮置場への搬入については、2月末時点で、約299万トンの搬入を完了しました（うち、約52万トンが焼却処理済、約189万トンが再生利用済）。
- ・被災家屋等について、2月末時点で、約17,200件の解体撤去申請を受付済みであり、約16,400件を解体撤去済みです。

○国直轄による対策地域内における仮設焼却施設の設置状況

- ・2月末時点で、約127万トン(除染廃棄物を含む)※を各仮設焼却施設で処理しました。

※仮設焼却施設での処理済量を訂正いたしました。（訂正日：令和4年1月12日）

○特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

- ・3月末時点で、170,631袋を特定廃棄物埋立処分施設へ搬入しました。

○**放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況（3月実施） ※**

- ・相談員支援センターにおいて、研修会を1回、住民セミナーを18回、車座意見交換会を4回実施しました。
 - ・環境再生プラザにおいて、専門家派遣を4件、移動展示を3件(3日) 実施しました。
 - ・内部被ばく検査(WBC)については、実施はありませんでした。
 - ・ガンマカメラを活用し、仮置場の原状回復などの検証を4台日実施しました。
- ※いずれも、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて実施しました。

○**帰還困難区域等における鳥獣の捕獲状況**

- ・今年度の捕獲数は、イノシシ2,252頭、アライグマ437頭、ハクビシン90頭となりました。